

議会改革をもう一步前へ

一期目、同僚議員の皆さんとともに議会改革に取り組みました。発行していない議会の方が珍しくなっていた議会だより「かしの木」を発行し、インターネットでの議会中継も始まりました。

しかし議会改革に終わりはありません。もっと議会内の議論を活発にし、執行部へのチェックと同時に提案のできる議会にしていきたいと考えています。執行部と議会との良き緊張関係が、町民のための政策を形成していくことにつながります。

私も応援しています

(敬称略)

- 児島 栄治 (後援会会長・真加部区長)
池田 勉 (後援会副会長・宗枝区長)
宇佐見一郎 (後援会事務局長・真加部)
櫻井 邦紘 (元鏡野町議会議員)
堀川 涼子 (美作大学社会福祉学科教授)

光吉ひとしプロフィール

1956年(S31年)生まれ。芳野小学校、鏡野中学校、津山高校、岡山大法文学部法学科卒。2011年、両親の介護のため帰郷。1995年より岡山市議・県議などのスタッフ、自治体議員政策情報センターの幹事などをつとめる。2017年より町議会議員として、議会運営委員長、広報特別委員会委員長など歴任。2021年町長選挙に挑戦。

[討議資料]

光吉ひとし

未来をみすえて
一人ひとりの時代は地方の時代

自宅 〒708-0335 岡山県苫田郡鏡野町真加部 379
T&F 0868-54-2345
携帯 090-8062-6242 E-mail:h-mitsuyoshi@wi.kualnet.jp

未来をみすえて 一人人口減少時代は地方の時代

- ◆ **移動と出合いで、にぎやかな中山間地をつくりだす**
地産地消で地域の経済をまわし心と体を育てる食育と農業を推進します
- ◆ **まっとうな気候政策への転換を**
災害時に孤立する可能性がある集落をなくし、環境基本条例・計画を策定します
- ◆ **今だけ、自分だけの社会から、共に生きる社会へ**
まちづくりの基本はみんなの声、議会改革をさらに前へ進めます



ごあいさつ

- 人口減少が続き地方消滅などと言われています。しかし鏡野町は、地域で得られる再生可能エネルギーと食料によって、地域に必要なエネルギーと食料を賄うことができる「永続地帯」です。世界の政治が危機的な今、エネルギーと食料を自給できることはとても大切です。その強さをいかし、未来への展望をしっかりと持った施策を実行すれば、鏡野には大きな希望があります。
- 住民の移動の自由を守り人々の出会いをつくり、気候危機への対策を着実に進める、農業をしっかりと守るなど、急がなければならない課題はたくさんあります。町政を支え、変えていくのは住民の意思と力です。皆さんとともに町政を少しでも前に進めていきたいと思えます。
- 今だけ良ければいい、自分だけ良ければいい、という風潮が強まっています。そういう時だからこそ、顔の見える地域の中から互いを支えあう社会を作っていきたいと考えます。未来を見すえ、地域の再生と未来への希望を創り出しましょう。